

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援とものわ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・常勤・非常勤の連携 職員同士の意見交換、共有が常に行われており、壁がない。常勤・非常勤関係なく、全員が主となって行動することができる。一人ひとり丁寧な支援を心掛けている。	・朝礼後の申し送り、休憩時など空いている時間に子どもの様子、支援について話している。どの職員も意識してそうしているのではなく、自然な流れで行っている印象。	・事業所評価の意見から、朝礼後に各クラスの申し送り時間をルーティン化したらどうかと意見があったため、取り入れることとなった。 ・個別支援計画作成は、常勤だけではなく非常勤の職員の意見を取り入れる。 ・更新された個別支援計画は、全職員に共有できる仕組み作りをする。
2	・他者の失敗に寛容	・誰かが間違っても、厳しく指摘することがない。「お互い様」の意識で関わることができている。	・問題が起きたときは検証し、次同じことが起きないための対策を必ず話し合う。PDCAサイクルを意識する。
3	・ヒヤリハットが多い 危険を感じる→その日のうちに書く、流れができています。	・ヒヤリハットの書式を簡素化し、書くことが負担にならないようにしている。 ・些細なことでも報告するよう心掛けている。報告→全職員に共有のため、ヒヤリハット記入の流れがきている。	・上がったヒヤリハットが活かされるよう、定期的に事故発生時の研修・訓練に行い、ヒヤリハット・事故報告の検証を行い、事故発生防止に繋げていく。
3	・チェックリストがあることで、効率化が図れている	・毎日行う業務は、チェックリストを作成して視覚化して各自で判断して行動できるようしている。	・業務の効率化を図ることで支援に当てる時間が増えるため、職員の意見を交えながら効率化を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物古く、子どもに合わせた作りに対応していない	・元々、施設向けの建物ではなかったため、子どもに合わせた作りではできていない。危ないと思われるところは、配置を考えたり、安全グッズなどの代用品を用いて対応している。	・事業所評価から職員の意見を拾い上げ、改善・実行できる箇所から会社と相談して進めていく。 ・今年度中の目標：きりんクラスの床、インターホンの設置
2	社内の事業所同士の交流は多少あるが、社外が交流もない。会社の理念の浸透がない。	・事業所内で抱える問題が多く、意識が他所までに発展しにくい現状がある。	・他事業所からのヘルプは前向きに検討し、協力体制を取る。 ・まずは社内の事業所同士の交流から始め、子ども同士の交流を図りたい。 ・理念は支援プログラムの一番上に掲げている。支援プログラムを元に会社の理念、事業所が大切にしていること、支援の目的を全職員に共有する。
3	活動の流れがルーティン化されており、よくいえば安定しているが、子どもにとって変化が少ない状況。	・発達障害のお子さんの特性に配慮した環境や時間の設定を心掛けた結果、であると思う。	・ルーティン化は経験を積み重ねることで本人が慣れてコツを掴んでいくため必要である。一方で環境や時間の流れをコントロールして子どもが落ち着いて過ごすことを優先し過ぎてしまうと、急な変更があったときに、子ども自身が対応できかねない心配がある→将来を見据えた支援が必要 ・活動はパターン化せず、子どもが変化を楽しめるような工夫をする ・時には計画的にイレギュラーな流れを取る等し、万が一子どもが不安定になったとしても、その子の特性の把握とその適切な支援を心掛け、少しずつ本人が適応できるよう支援していく。
4	・行事、イベントを取り入れることが難しい。	外出などの行事は、毎日通所している児童がいないため、実施日に利用がない児童が出てくる。また曜日に合わせて職員数の確保が必要になる。	左記の課題をクリアするには ・どの児童にも提供する→外出ではなく、室内で提供 ・実施利用日を変えて、計画的に提供する ・クラス同士の交流からスタート

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援とものわ

公表日 2026年1月30日

利用児童数 43

回収数 34

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30/34	3/34	0/34	1/34	・教室の広さは十分だが、運動部屋がもう少し広いといいと思う。	運動部屋スペースは十分ではありませんが、天気の良い日は毎日公園に行き、運動不足や気分転換できないといったことにならないよう心掛けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30/34	1/34	0/34	2/34	・子どもへの対応には、大変満足して ますが、職員さんの負担を考えると、 もう少し増員した方が良いと思う。 ・たくさんの先生方に見ていただい るので安心感がある。	ありがとうございます。職員数はお子さん二人に対し、職員が一人つくことができるように配置しています。今後も、安心して頂ける環境づくりに留意していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27/34	2/34	0/34	5/34	・集中できる環境だと思います。	限られた環境の中で、子どもがわかりやすいように設置するよう意識していますが、現状に満足せず、気付いた点は改善に向かうよう行動していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30/34	2/34	0/34	2/34	・いつもすっきりとしてきれいにされています。	ありがとうございます、今後も継続していきます。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32/34	1/34	0/34	1/34		お子さんの発達特性に合わせた支援を心掛けています。現状に満足せず、研修など学ぶ機会を設け、職員の資質向上を目指していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30/34	2/34	0/34	2/34	・内容	直接ご意見を頂くことはありませんが、職員間で定期的に確認し合う、契約時に保護者に目を通して頂くことをしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32/34	1/34	0/34	1/34	・面談で話したことを踏まえて、適切 支援計画が作成されていると感じる。 ・定期的に面談していただいています。 ・いつも細かく作成していただいま す。	ありがとうございます。お子さんと保護者に寄り添った支援計画が作成されるよう、今後も継続していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34		今後も、継続していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34		今後も、継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30/34	3/34	0/34	1/34		ルーティンで行っている部分と季節に応じて活動内容を変更している部分と両方あり、どちらも必要だと思っています。今後も子どもたちが経験を積み重ねることで、成長していけるようなプログラムを考えていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13/34	3/34	3/34	14/34	・幼稚園との連携、ご訪問ありがとうござ います。 ・あるのかわからない。	個人のお子さんの支援を目的とした見学・訪問はありますが、事業所と園の交流、子ども同士の交流といったことは実施がありません。環境の変化に敏感なお子さんもおられるため、社内の事業所同士での交流等で、少しずつ進められたと思います。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34/34	0/34	0/34	0/34		今後も、継続していきます。	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34/34	0/34	0/34	0/34		今後も、継続していきます。	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	28/34	3/34	0/34	3/34		・ペアレント・トレーニングと称したプログラムは実施していませんが、状況に応じて保護者にアドバイスをしたり、必要があればPTを専門で行っている機関を紹介しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートで1日の様子を細かく伝えていただけるので、子どもの様子を知ることができてとても嬉しいです。 ・事業所での様子や過ごし方など、連絡帳で伝えてくれる。 ・連絡帳を通していつも相談させていただいている。様子も細かく知ることができている。 	ありがとうございます、今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33/34	1/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・相談に乗って下さり、丁寧なご対応に感謝しております。 ・いつも相談にのって頂き、的確なアドバイスをくれたり、話をきいて頂けるので、親としてもとても安心して通所させて頂いています。 	ありがとうございます、今後も継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも寄り添っていただき感謝しております。 ・自分が子どもに対して行っている事に否定せず、共感してくれることにごく精神的に支えてもらっています。 ・面談時や連絡帳でのやり取りにて、寄り添ってもらえていると感じる。 ・よりそった対応をして下さっていると感じます。 ・悩みなどいつも聞いていただき安心してきます。 	ありがとうございます、今後も継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25/34	5/34	0/34	4/34	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から利用開始の為、療育園開催の保護者交流会に参加できていない為。 ・きょうだいへの支援は不明ですが、家族への支援はして頂いています。 ・保護者の交流会はあるのは知っているが、きょうだい同士はわからない。 	ご意見ありがとうございます。保護者同士の交流会は年に一度、開催しています。きょうだい向けの交流といった機会は実施がなく、上記の地域の交流を含めて、事業所の課題として検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33/34	1/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに対応して頂けるので、とても感謝しております。 	苦情等の受付、相談窓口については契約時に説明させて頂いています。その他の相談、申し入れについては、話があった時点で担任→管理者が窓口となり対応する体制をとっています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34		今後も、継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30/34	2/34	0/34	2/34	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムが始まり見やすくなりました。他の事業所の様子も見やすくなるので楽しいです。 	今年度からホームページに加えて、インスタグラムを始めました。保護者が気軽に見ることができると、今後も活用し、様子をお届けしていきます。行事予定はメールにて、自己評価はホームページに公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32/34	0/34	0/34	2/34		今後も、継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34/34	0/34	0/34	0/34		安全計画と合わせて、契約時、在園児のご家庭は面談時に順番に説明させて頂いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34/34	0/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・したらその都度教えてくださっています。 	今後も、継続していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34/34	0/34	0/34	0/34		契約時に説明しています。在園児のご家庭には面談時に順番に説明させて頂いています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32/34	0/34	0/34	2/34	<ul style="list-style-type: none"> ・とても小さな怪我でも報告して頂けるので安心です。 ・経験がないため不明。 	事故、怪我等の連絡は、いつ連絡するか（今すぐ、帰宅時など）連絡手段の選択（電話、メール、連絡ノート）を判断しています。事故を防ぐことを第一とし、万が一起きてしまった場合は不明点がないよう、適切な対応を心掛けていきます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33/34	1/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方を信頼しており、安心してこどもも親も通所させていただいています。 ・保育園では年齢があがる毎に、本人も周りの雰囲気におされてしまう事があり不安定な状態になるが、とものわさんではそんな事になることはなく、むしろ安心して楽しく過ごせる場所としてよりどころになっています。 ・職員みなさんのことが大好きなようで、毎回とても楽しみにしております。 ・安心していて毎回行くのを楽しみにしている様子です。 	<p>ありがとうございます。お子さんが楽しく通っている姿を見て、安心頂いていると感じています。</p> <p>時には不安になり「行きたくない!」といった気持ちになることもあると思います。そのようなときも、お子さんと保護者に寄り添って、一緒に考えていきたいです。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33/34	1/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも通所を楽しみにしており、帰宅後も笑顔で良い表情をしています。 ・「明日はとものわだよ」と言うと、「やったー!」と言って楽しみにしている様子。 	<p>ありがとうございます。笑顔であってもなくても、お家での様子をお伝え頂くと嬉しいです。支援は「楽しい」があつてこそだと思うので、子どもそれぞれの楽しいを一緒に見つけていけるよう努めていきます。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	33/34	1/34	0/34	0/34	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に通えてよかったと思います。下の子ももし悩んだ際は利用させていただきたいと考えてます。 ・親子共々、支援に大変感謝しています。ありがとうございます。 ・とても満足。 ・いつも丁寧な対応をして頂いています。 ・保育園と自分だけだと絶対行き詰っていたと思います。支援していただき子どもの成長も見られ自分も安心して過ごせ感謝しています。 	<p>温かいお言葉、ありがとうございます。今回のアンケートで貴重なご意見を頂き、気付いたところは課題として取り組み、今できていることも初心に戻って、また新たに一年子どもと一緒に成長できるよう努めています。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ともわ				公表日	2026年1月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11/12	0/12	・ークラスにつき、二部屋使用しています。その他にも運動部屋や2階の部屋があり、状況に応じて使用している。 ・その日の利用人数に応じて、二部屋に分かれて活動すること等、工夫している。	・8人になると少し狭く感じる。 →左記の通り、状況に応じて部屋を分ける等工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12/12	0/12	・利用メンバーによって、職員が不足していると思われる時は、他クラスから応援支援に入っている。 ・当日の人数の変化にも臨機応変に対応している。	引き続き、臨機応変に対応していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10/12	2/12	・二部屋を使用し、活動によって環境を変えて子どもがわかりやすいようにしている。 ・所持品整理は写真や絵カードで示し、子どもがわかりやすいよう配慮されている。 ・パネル・スケジュールの提示で可視化している。	・子ども達で過ごす空間は危険のないようにしていきたい。 →少しでも危険ないと感じたら、ヒヤリハットを挙げた職員間で共有します。 ・建物古く、バリアフリーにはなっていない。 →子どもにとって使い勝手が悪い部分は台を使用する等工夫している。また、子どもが活動に集中できるように壁にイラスト等の掲示物は控えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5/12	5/12	・危険、不衛生と思われるところに子どもがいけないよう声かけ、配慮している。 ・掃除も毎日していて清潔だと思う。 ・清掃は職員で細部も心がけている。	・できるかぎりの清掃はされているが、運動部屋は床から外と繋がっており、十分ではない。 ・床がはがれている所が数カ所ある。開閉しにくい扉があるため、いつかケガをしないかと気になる。 ・老朽化による劣化や汚れが目立つ。 ・床がめくれている。窓ガラスがわれている。 ・床のフローリングがめくれていたり(特にきりんの部屋)、その他の修理が必要な所が多々ある。 ・フローリングの劣化等有り。 →危険箇所は応急処置を施し子どもにも声掛けしています。今後の課題として、対応していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12/12	0/12	・活動していない部屋で過ごすなどの工夫はされている。	・1部屋完全にリラックスメームとしての場所がない。 →使用していない部屋が2箇所あるため、状況に応じてそちらを使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9/12	1/12	・毎月、クラスの振り返りができている。 ・担任以外の職員が、何を気をつけたいのかが、朝礼後共有する時間があるのがありがたい。 ・常勤とパートの職員との話し合いに基づき、日誌の作成を心がけている。 ・パートさんは参加が難しそうだが、記録で残し読めるようにしている。	・常勤のみの参加が常となっている。 →勤務の都合上、致し方ない部分ではありますが、左記の通り朝礼後など隙間時間を見つけて伝達したり、話し合った内容を書面にお越し、全職員に共有する工夫をしています。常勤・非常勤と分けることなく、参加できる職員には積極的に参加してもらえよう工夫していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11/12	0/12	・保護者会の実施もされている。 ・保護者の方々の意見・意向を連絡ノートやメールでのやりとりで行い、気持ちに沿うように心がけている。	・毎年実施しています。保護者からの意見は職員間で話し合い、改善すべき点があれば解決へ向けて取り組んでいきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12/12	0/12	・日々の振り返りと共有ができている。 ・日々のコミュニケーションで、意見を聞いてもらえることが多い。 ・常に意見がしやすい環境。その都度改善できるように話している。 ・すぐ確認できる環境と感じている。	・保護者向け評価表と同時期に自己評価表を配布しています。匿名で提出してもらい、職員の意見を把握しています。上記同様に、出た意見は会議で話し合い、改善に向けて取り組んでいきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4/12	2/12		・第三者評価は実施されたことがありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9/12	0/12	・ウェブでの講習を受けている。また、講習を受けた職員が作成した報告書で共有できている。 ・定期的に行っている。 ・時間があれば参加している。	・定期的に計画していますが、全職員の参加は難しいため、参加した職員が他職員に会議や書面等で情報共有するよう心がけています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10/12	0/12		・職員間で話し合った内容をもとに支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表しています。また、事業所内にも掲示しています。	

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11/12	0/12	・面談でニーズの聞き取りがされている。	事業所・家庭・他施設の様子を共有し、ニーズを伺った上で支援計画を作成しています。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10/12	0/12	・クラス担任だけでなく、気付いた様子をその都度伝え合い、作成にもつながっている。	・作成する際は、複数の職員からの意見をもとに多角的な視点で作成しよう心掛けています。 ・子ども目線「達成したら本人が嬉しいか」に立つことを意識して作成しています。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11/12	1/12	・計画に沿った支援は常勤職員が主となり、療育を実施しながら他職員に伝達している。	・基本的に支援計画は常勤のみで共有されている印象。非常勤にも共有していただくと、共通目標を持って支援を行えるのではないかと思います。 →日々の支援内容の共有は日常的に行っていますが、支援計画の共有は作成に携わった職員が中心となっているのが現状です。この機会に共有できるようなシステムを決めていきます。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9/12	1/12	・決められたアセスメントは使用していないが、評価に偏りが生じないよう複数の職員の観察を通して話し合うよう心掛けている。また、個別療育では太田ステージという評価スケールがあり、それに基づいて行動分析、支援方法を検討している。	・今後、支援に役立つフォーマルなアセスメントがあれば取り入れることを検討していきます。 また、個別療育で使用している太田ステージの評価スケールを集団療育にも応用し、引き続き支援していきます。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8/12	2/12	・ガイドラインに示されている支援項目はすべて支援計画に設定され、項目ごとに具体的な支援内容も記載し、保護者に説明している。	質問14にある、支援計画の全職員への共有が進んでいないため、合わせて各項目への説明・周知を徹底していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10/12	0/12	・クラス担任でクラス案を決める。横のクラスにも共有、合同の行事もある。 ・時間を取り話し合っている。他クラスの活動も参考にしている。	・時間的な制約があるため、主に常勤職員が担当しているが、他職員への意見を参考にしながら全体で取り組んでいる意識で行っています。引き続き、努めていきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11/12	0/12	・担任だけでなく、様々な立ち位置の職員にも聞き、取り入れることがある。 ・発達段階や季節に応じた活動プログラムが考えられている。 ・今の子どもたちの様子を見て考えている。	・場所や時間の固定は習得するためにはある程度必要ですが、活動内容は子どもの様子を見ながら、常に新しいことを取り入れていっています。引き続き、努めていきます。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10/12	0/12	・集団で行う遊びと製作や自由遊び等それぞれの個性を活かした遊びを取り入れている。 ・環境としては小集団であるが、支援自体は個々に合わせて行っている。必要に応じて個別活動を取り入れることをしている。	引き続き、努めていきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12/12	0/12	・役割分担だけでなく、誰にどういった関わりが気をつけているかの共有もされる。 ・毎朝の会や日案によって確認し合っている。 ・確認することを通して、安心して業務に務めることができた。 ・限られた時間の中ではあるが、療育の気付きや振り返りを共有する様になっている。 ・必ずではないが、気になった点は個々でクラス担任に伝えている。	・できるのであれば、ルーティン化した方がいいのではないかと。 →現時点では必ず行うとはなっていませんが、ほぼ毎日のように行っています。けれども、時間のないときは、打ち合わせが簡略化されるため十分な共有ができていない場合があるため、今後の課題として検討していきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12/12	0/12	・共有だけでなく記録としても残すことあり。 ・毎日、療育の記録を取っている。 ・振り返ることを通して、次の支援につながると感じている。 ・専門的支援記録を書きながら、その日の療育について話しするよう心掛けている。 ・必ずではないが、気になった点は個々でクラス担任に伝えている。	引き続き、努めていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12/12	0/12	・毎日、療育の記録を取っている。 ・可能な限り、療育中に記録をとるようにしている(専門的支援記録に細かく記入できるため)。	記録を取ることによって、行った支援の検証になり職員間での話し合いも生まれます。その中から新たな視点が発見されることが多いため、引き続き、努めていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11/12	0/12	・定められた通り、半年に一度見直しを行っている。	引き続き、努めていきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9/12	0/12	・利用児のクラス担任と児童発達支援管理責任者が出席しており、	関係機関同士での課題の共有や支援の方向性の一致など、子どもにとってメリットが大きいと感じるため、引き続き、開催が増えていくよう努めていきます。
25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8/12	0/12	・保育所、幼稚園との協力。見学→保護者への伝達もできている。 ・利用児が通所している保育園・幼稚園との連絡、見学、会議等が昨年度に比べて、開催される回数が増えた。	・地域や医療機関との連携は機会あまり機会がないため、今後、検討していきます。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9/12	0/12	・過ごす場所のメインである幼稚園、保育園等が快適に過ごせるように、常に意識して支援している。	・少しづつ幼稚園、保育園との連携はできているが、まだ不十分な点もある。 →昨年度より増えたものの、必要な児童に行き渡っていないことや、開催されたものの、共有するまでに至り、"支援"といったところにまで話が及ばないことがあるため、まずは連絡→共有→連携の流れで関係性を深めていくことが必要と感じています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8/12	1/12	・必要なときは行っている。 ・年長児への移行支援は特に留意しており、保護者との面談を通して、就学へ向けての準備、心構え等を伝えしている。	・小学校側と直接連絡することは少ないが、事業所側からできることとして、情報提供書を作成して保護者から学校へ提出してもらおうようお願いしています。引き続き、努めていきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5/12	3/12		・児童発達支援センターから助言を受けることはありませんでしたが、他大学の先生を呼んで支援の助言を受ける機会を設けました。今後もそのような機会を設けられるよう継続していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2/12	9/12	・地域の子ども同士の関わりはあまりないが、事業所間での交流はまれにあるように思う。	・事業所と園での交流はあっても、子ども同士での交流はほとんどないため、来年度は園の園庭遊びに参加する等、交流を目指して行動していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12/12	0/12	・連絡ノートでのお返事や個別に来られている方には直接お話しする機会が持っています。 ・直接話す機会はありませんが、ノートでやりとりできている。	・連絡ノートでのやり取りをメインに、必要に応じてお電話や面談を行っています。中には、時間的な都合もあって、共有が難しいご家庭があるため、今後の課題として取り組んでいきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3/12	6/12	・年長児向け保護者の実施あり。 ・保護者会は行っている。 ・別機関を紹介している。	・ペアレント・トレーニングと称したプログラムは実施していませんが、状況に応じて保護者にアドバイスをしたり、必要があればPTを専門で行っている機関を紹介しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11/12	0/12	・新規利用の契約時に行っている。	引き続き、努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10/12	0/12	・面談時に必ずニーズを聞いている。 ・子どもが達成したら嬉しい、楽しい姿を想像して作成するよう心掛けている。 ・支援計画作成にあたってのニーズは、本人に聞くことが難しいため、保護者に伺っているが、大人から見た視点だけに偏重せず、子ども中心となるよう意識している。	引き続き、努めていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12/12	0/12		引き続き、努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12/12	0/12	・定期的な面談に加え、連絡ノートや電話、必要に応じて対面での面談を行っている。相談の依頼がなくとも、子どもの様子で気になることがあれば、事業所から話を伺うことも多々ある。	引き続き、努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11/12	0/12	・保護者会の開催をしている。 ・保護者会を開催する機会を持った。	・年に1回、保護者会を開催していますが、きょうだい同士の交流はしていません。今後検討していきます。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11/12	0/12	・日々の子に対する相談があった場合は、すぐに管理者に報告し、対応している。	・左記以外での相談や申し入れに関しては、現時点でないため、そのようなことが合った場合は、迅速に対応します。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12/12	0/12	・ホームページと今年度からはインスタグラムを開設し、活動内容を発信している。行事予定はメールにて各家庭に連絡を入れている。連絡体制等は新規利用の契約時に説明している。	引き続き、努めていきます。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSにのせる写真もふくめて、注意して取り扱っている。 ・書類の保管、資料等の持ち帰りなど取扱いについて留意されている。 ・鍵付きロッカー使用。書類の扱い→すぐに元の場所へ。 	引き続き、努めていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・子に合わせたコミュニケーションをするよう心掛けている。言葉だけでは伝わりづらい場合は視覚ツールを用いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との意思疎通に関して、ご家庭に合わせてどの手段でコミュニケーションを図ったらよいか常に模索しています。仕事をしながらの子育てであることを十分に理解し、ご家庭の負担にならないような関わりを心掛けています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4/12	7/12		<ul style="list-style-type: none"> ・実施してできていません。きょうだい同士の交流を含め、家族参加型の交流や行事ができれば素敵だと思うので、まずは職員で話し合う機会を設け、実現に向けて検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症、災害時に加えて、不審者や車両の降りし忘れ防止など、計画的に度研修、訓練を行った。 	引き続き、努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた通り、BCP（感染症・災害）の研修・訓練を年に2回行っている。 	引き続き、努めていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・留意が必要な児に対する対応マニュアルが文書化され、目につく所に貼られている。 	引き続き、努めていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10/12	1/12	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの聞き取りで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの報告には基づいているが、医師の指示書は、あまり目にしない。 →指示書の提出は義務付けていないが、それに変わる保護者からの聞き取りを行い、文書化して掲示している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた通り、安全計画に基づいて研修・訓練を行い、記録を残している。 	引き続き、努めていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用の契約時と面談時にお伝えしている。 	引き続き、努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書にて、確認・共有している。 ・毎回ヒヤリハットを読ませていただいて、児童の特徴を把握でき、再発防止につなげるとしています。 	引き続き、努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12/12	0/12		引き続き、努めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10/12	0/12	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止の研修を行った際に、合わせて身体拘束について周知している。保護者へは契約時に説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で身体拘束が必要な児童がいないため、今後そのようなことがあれば保護者に十分に説明し、同意書を作成、了承を得る流れを取ります。 ・想定外の事態が起きたときは、複数の職員で対応を検証した後、保護者に状況説明を行います。